

Winter In Einzbern

Before the grail war
The Homunculs
was manufactured



Fate/stay night
Fan-book
Ilyasviel von Einzbern
FOR ADULT ONLY



そう...
楽しみね♪

イリヤ...
...もう着く...

きゅん

きゅん

きゅん

— それは聖杯戦争を 寸前に控えた異国の地 —



ですがお嬢様 本当に
宜しいのですか？

いつまでもこのような事
...御館様の知るトコロと
なりましたら...

その話はいいわ
それより鑄造は？

はい、今回も
滞りなく...

サッ

サッ

サッ

— アインツベルン領内で 内秘に繰り返された凶行 —



ピチャン

ピチャン



出来は今までで一番です
とは言いましても...
似せられたのはあくまで
容姿のみになります
声色や気性などは...

今回は衣服も同じ物を
用意しましたが...
手持ちの資料と材料では
この辺が限界かと...



The

12th

Writer

こやっち

Winter in Einzbern

04

Before the grail war
The Homunculs was manufactured



おやっち

□ 前書き

■ こんにちは～&始めまして～。

ぶり桃のごやです。

寒いですね～冬ですね～。冬にはやっぱ一人に一人、イリヤが欲しくなりますよね w ぜひ、目の前でくるくる回って欲しいと切望します♪ もちろん膝の上にも乗って貰いたい！そして出来れば魔眼もくらってみたい！！そして、そして、、ハハハ(´▽｀)ソノクライニシトケ

■ この本の説明。

えっと、Fate 本第3弾でイリヤ本になります。(^^)

といっても、まだ士郎と出会う前のイリヤですね。

聖杯戦争前の、まだ母国にいた頃のイリヤの話です。

とりあえず、まだ誰とも接点の無い頃のイリヤなので、そんなイメージでお読み下さい。m(_ _)m

■ トーン貼れた、、(TT)

ホント、久しぶりにトーン貼れましたよ。時間作れたんで。

でもなんか 久しぶり過ぎて、グレーでトーン貼るやり方、

忘れちゃってました。最近 年なんで物忘れが、、w

■ ネタバレ注意報表

毎回ネタバレは入ってしまいますので表にしてみました。

	漫画部分	イラスト、 テキスト部分
【Fate/stay night】	弱	中
【Fate/hollow ataraxia】	無し	無し
【Character material】	無し	弱

強：出来る限りプレイしてから読んで下さい。
中：なるべくプレイしてからの方がいいかも、、
弱：特に気にする方だけご注意ください。
微：ほとんど無いに近いです。
無し：まったく無いです。

■ それではまた のちほど会いましょ～。

ごやっち

Circle
ぶり桃



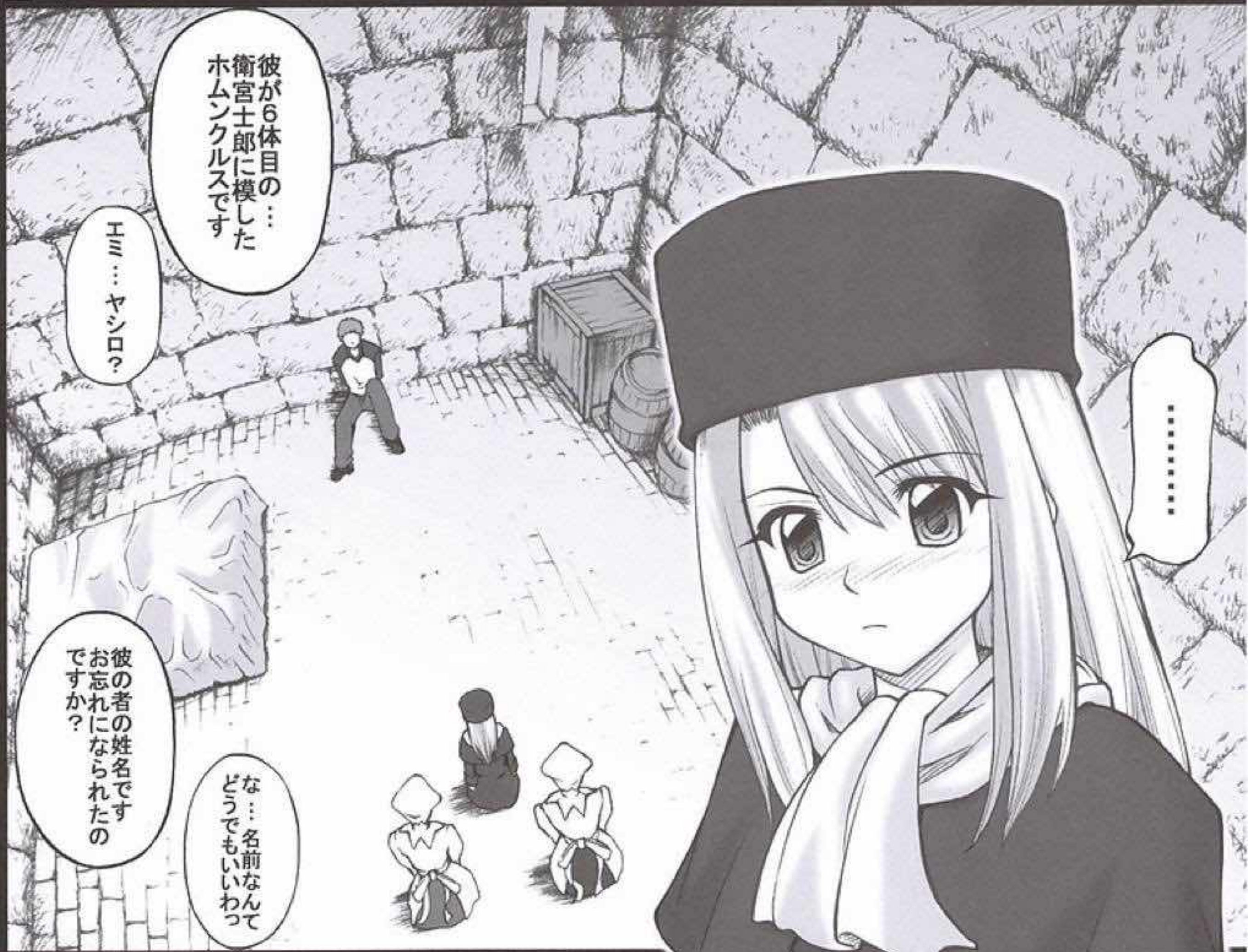
ビーン

キーンキーン



こちらになります

カチャ



彼が6体目の…
衛宮士郎に模した
ホムンクルスです

エミ…ヤシロっ

……

彼の者の姓名です
お忘れになられたの
ですか？

な…名前なんて
どうでもいいわって



初めまして
私はイリヤ…
イリヤスフィール・
フォン・アインツベルン

今からあなたは私のお兄ちゃんになるの

あなたもホムンクルスなら自己の存在意義は…誕生した瞬間にもう理解出来ているでしょ？

お、お前…本気なのか？

ええ、本気よあと私のことはイリヤと呼びなさい

イリヤ、「」の子ベツト「運」がっ

そうねリズ

運んだら2人共さがっていいわでももう少し待ってなさい

まだ少し話があるの最初にはつきり教えておいてあげなくちゃ

悪い冗談はやめてくれ

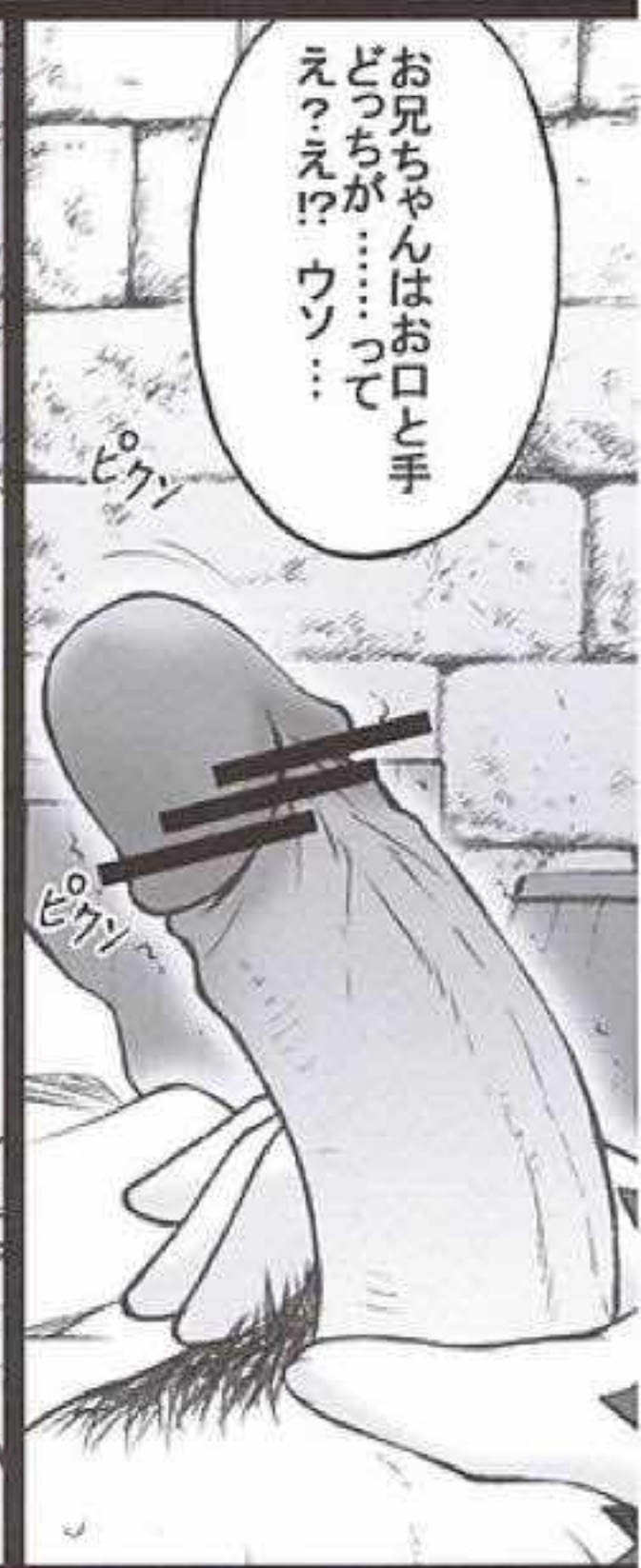
いい…あなたはね…「本当のお兄ちゃん」とどう遊んだら長く楽しめるか」それをその身体を使って研究されるの

人間はすぐ死ぬから予習しないとね

だから、まだ身体がまともなうちに淫楽の遊びからしてあげるね

最後は必ず壊れるわ…あなたは助からない

ゴクッ





じゃあイリヤにちゃんと
お願いしなさい♪
中に入れさせてって♡

このおちんちんで
イリヤをズスコ
したい♡って♡

ほらほら
早くなさい♪

な……

そしたらすぐにもっと
気持ち良くてあげ
られるんだから♪

……う……



ふりん…そう♪
お兄ちゃんってば
だまつちゃうんだ!?

先つちからはこんな
垂らしててくせに

いいの? イリヤは
素直になって今を楽しんだ
方が良くと思うけどなあ

ちゅ♡
ちゅ♡



ちゅ♡
ちゅ♡

ん♡
ちゅ♡





!?

わ、わかった…この紐ほどいてくれ

好きに…やりたい

…♡♡♡

そのくらい認めてあげるでも気を付けなさい…ほんの少しでも肌を傷つけたら許さないわ♪

ん?

ペキョペキョ

!?

ノサァ

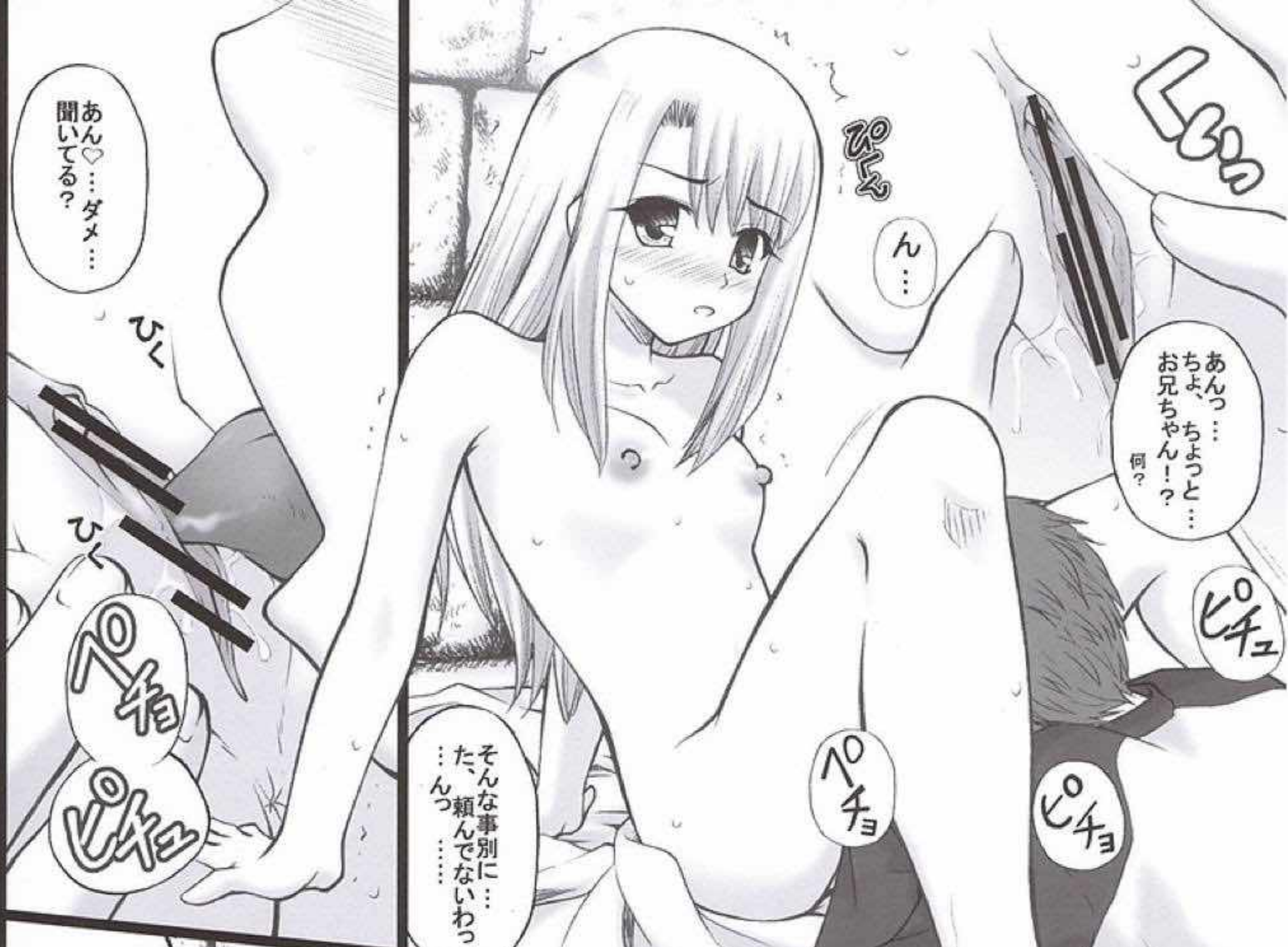


クス…好きにしなさい今だけはイリヤのゴッ…お兄ちゃんのモノなんだから…♪

そのいやらしいおちんちんで何度でも自由に犯していいわ♡

……ゴクッ

ニキョキ



あん♡…ダメ…
聞いているっ

あんっ…
ちよ、ちよと…
お兄ちゃん!?
何?

そんな事別に…
た、頼んでないわっ
…んっ



あ…あ…
あ…いつまで…
な、舐めてるの?
本当に…いいから…



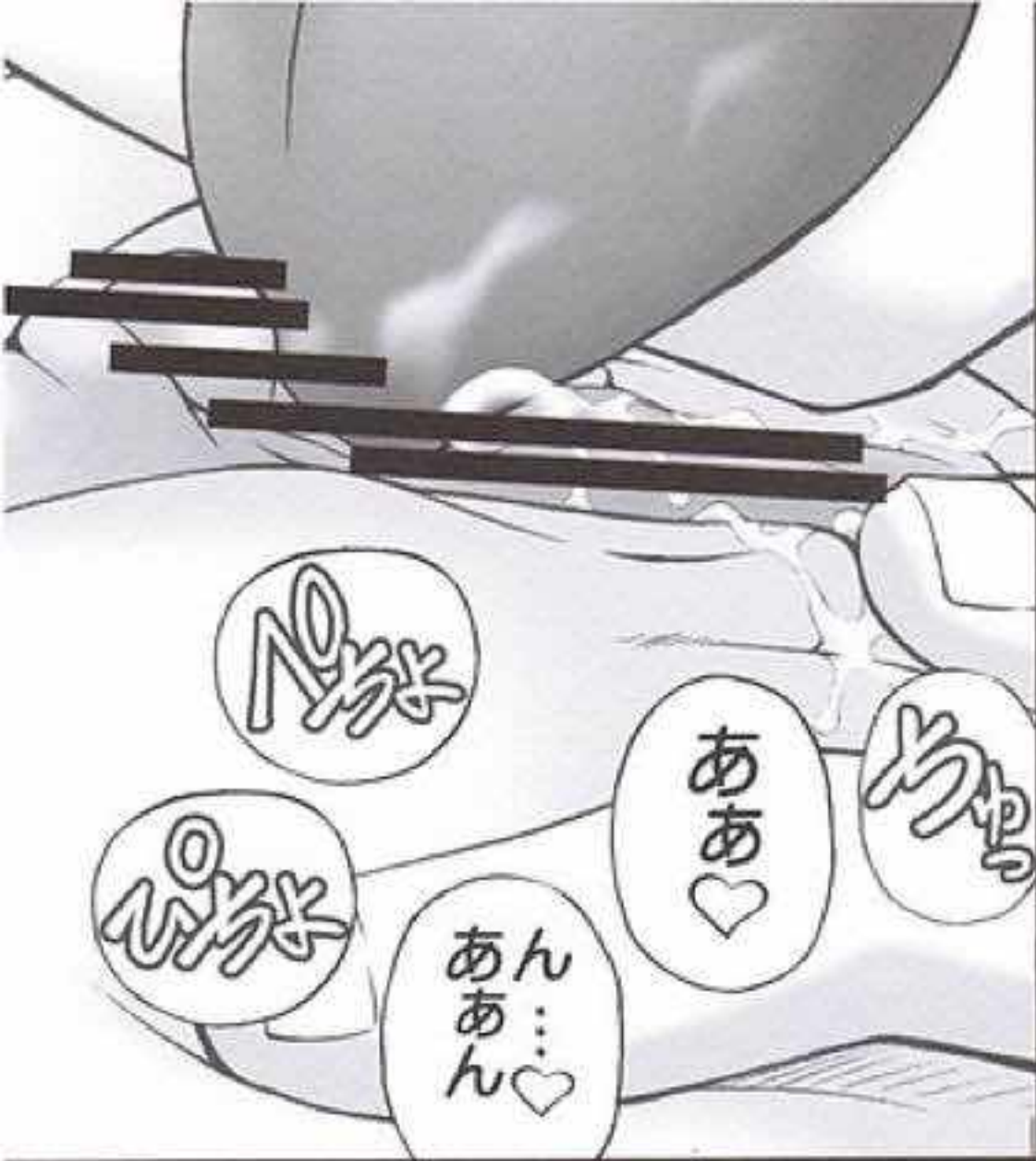
やっ お兄ちゃん
やだ…そんなトコ
…舌入れないで…
ん…そんなのイリヤ
必要ないんだから…
や、やめなさい!!

お兄ちゃん…
やめ…あん♡



イリヤ…ちやんと…

じゅ…準備して
きたもん
秘薬と魔術で…





もっつ…
全然素直じゃない

完璧ハズレだわっ
このお兄ちゃん…
後でメチャメチャに
してやるんだからっ



お…お兄ちゃん
したいんでしょ!?

だったら余計な事
しないでっ…

かあ

イリヤは…別に
気持ちよくなくて
いいの!!

わ、わかった!?



あん♡

やっ…ダメ
ちよつと…

もっと
ゆっくり…



ひっ…ああっ
ま、待ちなさい

あ…あつ
あ…あつ

あ…あつ…
あ…あつ…
あ…あつ…
あ…あつ…



うう…イクぞ！
な、中に出すからな
出すからな！！

あつ…あん
あつ♡

何？な…何か
いつもと違っ…

あん…
あつ

ハッ
ハッ
ハッ

ぎゅっ

あ♡



ズチュ
ズチュ
ズチュ
ズチュ

あめ♡

お兄ちゃん…
あん…そ…

あつあふ
…あつ…

ぞく

あ

んっ…深い…
お兄ちゃん…おちんちん…あつ

あつ

イリヤの奥まで…
…ん…ああ
入ってくるう…

ああ



ズチュ
ズチュ
ズチュ

ギゅ
ギゅ

ギゅ
ギゅ

ん♡

あつ

うそ…さっきよりも
カタくなってる…？

ハッ

あつ



とびや
とびや
とびや

きゅ

きゅ

ひちよ

ぎゅ

とびや
とびや
とびや

あつあ♡

ああん…あつ
あ♡

びゅ

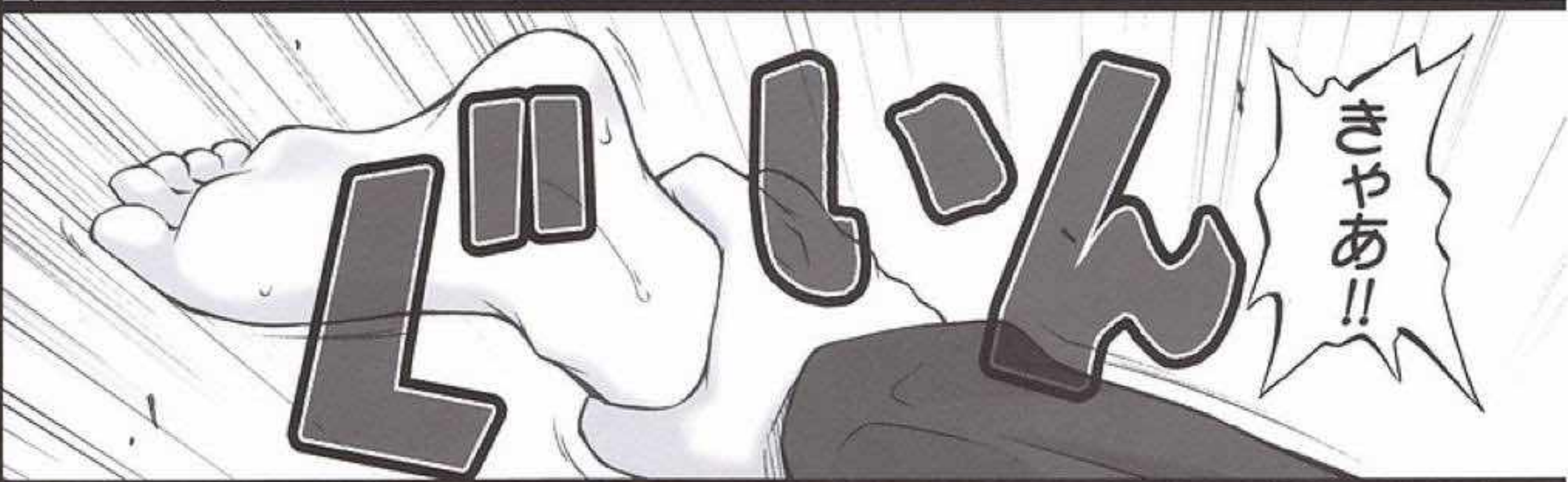
びゅ

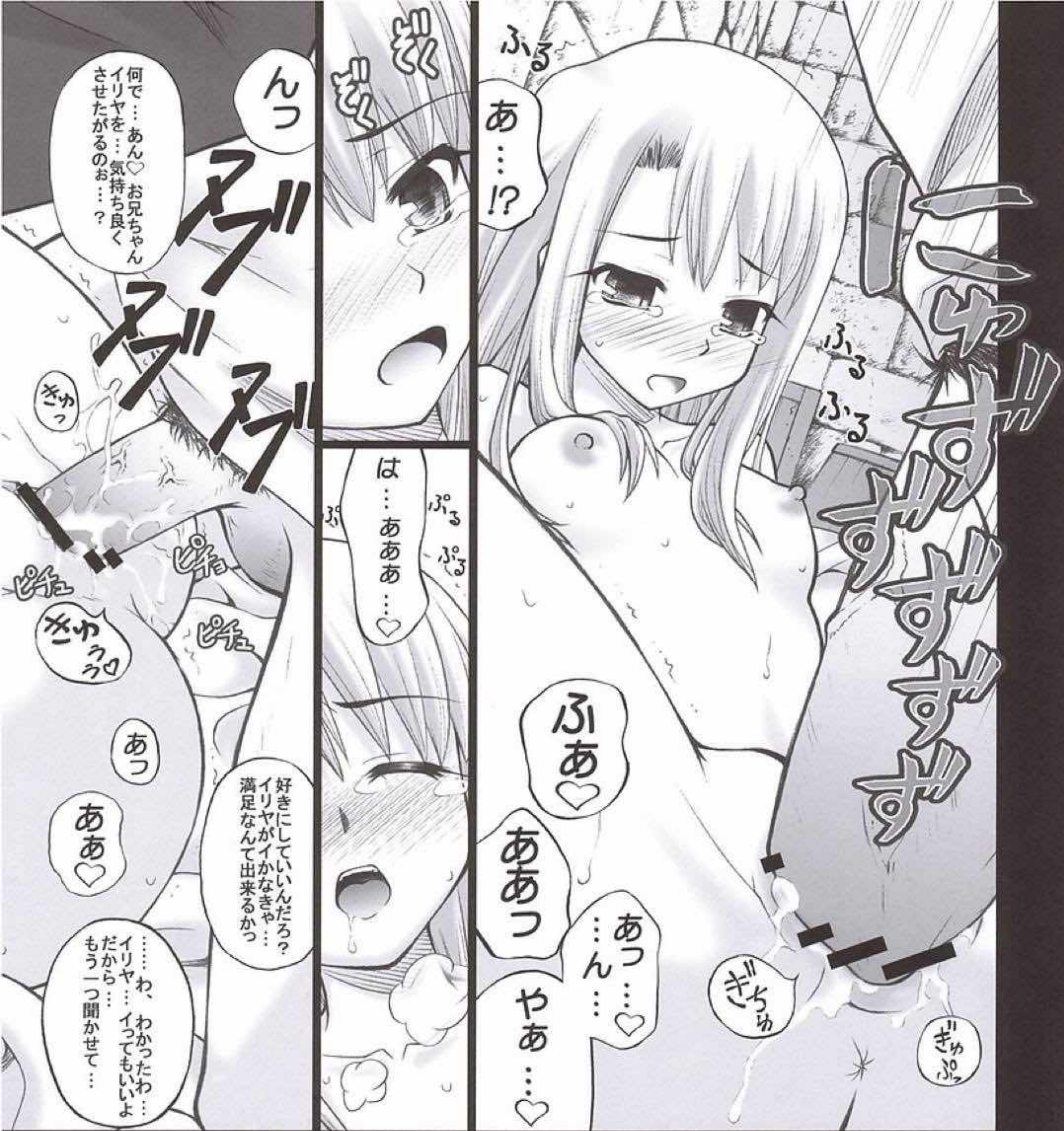
出いよあ♡

ひゅん

うああ…うん

はあ♡





何で...あん♡お兄ちゃん
イリヤを...気持ち良く
させたがるのお...??

んっ

アツアツ
アツアツ
アツアツ

キゅっ

ピタ

キゅっ
キゅっ

ピタ
ピタ

あっ

ああ♡

好きにしていんだろ?
イリヤがイかなきゃ...
満足なんて出来るかっ

...わ、わかったわ...
イリヤ... イつもいいよ
だから...
もう一つ聞かせて...



ふふ

あ...!?

は...あああ...♡

ふふ
ふふ

ふあ♡

ああっ

あっ...♡
...ん...♡

やあ...♡

キゅっ

キゅっ

ズズズズ
ズズズズ
ズズズズ
ズズズズ



あっ♡

あ...あのね...
お兄ちゃん...
イクって...何?

あん

あっ♡

あっ♡
あっ♡

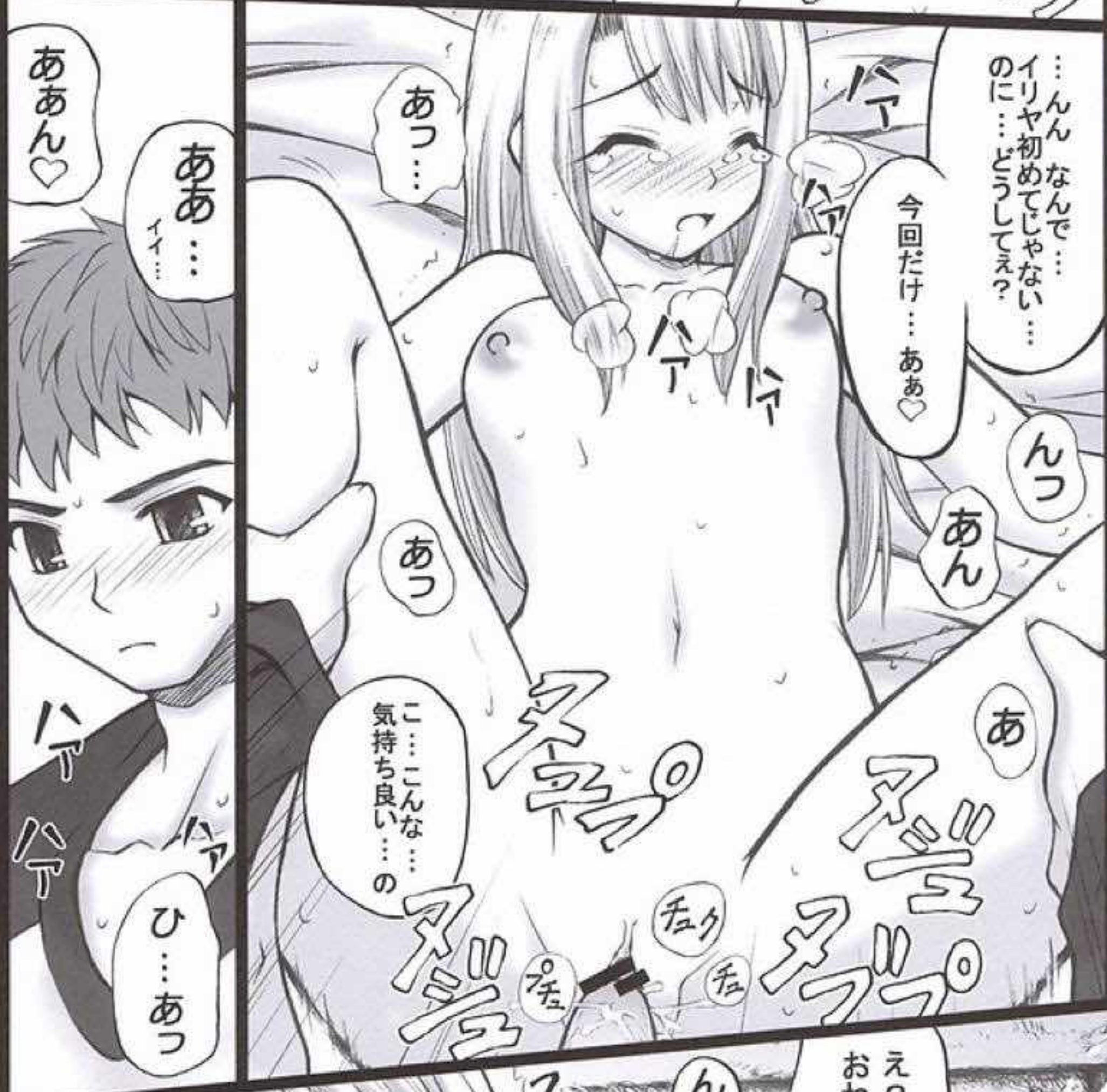
...そっか...なら
今教えてやる

ズズズズ
ズズズズ

ズズズズ

キゅっ

キゅっ





あ…ああ♡

ニユルニユル

ダメエ…お兄ちゃん
おちんちん抜いちや
……

もっ♡はああ…
もっとおお…今の
もっとしてえ…

イリヤの奥まで…
あん…あっああ…

あ
あ
あ

びし
びし

んっ

あ♡
んっ

ちゅっ

ちゅっ

ヌッ
ヌッ

ズッ
ズッ
ズッ

ちゅっ

ちゅっ

あひっ
ああ…♡
あああ

ちゅっ

ちゅっ

いびゅ

キョッ

いびゅ

き、気持ちいい…♡
お兄ちゃん…ソッ
…イイ…もっ
長〜…

ああっ
お兄ちゃん…♡

ズッ
ズッ
ズッ

あ、ああ…そうだ
いっしてくれイリヤ
オレもイク…

あん♡
あ…あっ

あっ

いつちや…ああ…
お兄ちゃん…♡

あっ

イ…いつちやの？
イリヤ…これっで…
あっ…ひあ♡

いっ
いっ
いっ

キョ

グキョ

ああ



あつはあ
お兄ちやあつ
あつ...あつ

△△

△△

あんっ♡

ヌヌ

ヌヌ

あつ...あつ...
ああ♡

チゅっ
チゅっ
チゅっ



ああつ
...イイ♡

んあつ

イク、うん
イク...イリヤ♡



あつ♡

あひあつ
...



あつ...
あつ...

あつ...

あつ

あつ...
あつ...

あつ...
あつ...

あつ...

あつ...

あつ...



あ...ああ...

あつ...

あつ...

あつ...



あつ...

あつ...

あつ...

あつ...



あつ...

あつ...



お嬢様—
お呼びでしょうか

……



ドロキョウ



ん……

……おびき……



リス・セラ、
お兄ちゃんを私の
部屋に運んでおいて

あと少しくサイワと
お風呂にもちやんと
入れておきなさい

キョウ

レツ



……





— 聖杯戦争が始まる —



— だから、私達は日本へ —





早く行きたいなあ♪
聖杯もお兄ちゃんも
全部私が… あ、雪？

綺麗…真っ白な雪
お兄ちゃんの街でも
降るかなあ？

そっだ 雪使った遊びも
予習しておかなくちゃ♡
雪責め♪

ぱあっ



— 待ってなさい お兄ちゃん
真っ先に
殺しに行っておげるね♪ —

■あふたあ〜すと〜りい〜

音もなくシンシンと降り積もる雪… 異国の、その凍てついた古城の地下室で、今までの5体のホムシ主郎はバラバラに壊されてきたのです。イリヤ、何て恐ろしい子っ!! w
ところで、エロさゆえに命拾いしたこの6体目のホムシ主郎君はこの後どうなったんでしょう..? きっと、イリヤが日本に旅立つまでずっと巫回〜いお相手をし、壊されないまま、ごっそり野に放たれるのですヨ。そしてダメットさんが撃ち滅ぼしてきた他のアインツベルン製ホムンクルスのように、誰かに殺されるまで自由に生きるのです。w

どつちがいいかなあ?



等身大お兄ちゃんと
手乗りお兄ちゃん…

■雪責め♪

雪だるま主郎を作る練習中のイリヤ。当然 雪責め用。w
捕まえてきた土郎の身体が壊れて使い物にならなくなったら、魂を雪だるまに移し変えてさらに土郎で遊ぶ計画なのだっ♪
イリヤ、何て怖い子っ!! w

タイガー道場

妖しい空気漂うテタラメな場所。
その世界の名は【タイガー道場】
気がつくとき オレはそんな
場所にいた…
そして目の前には、テタラメな
二刀流の使い手が立ち塞がる。
「また殺されちゃったのシロウ？
情けないなあ♪」竹刀を揺らし
ながらロリブルマはそうのたまう
そう…オレこと衛宮士郎は死んで
しまったのだ…。



「あいにく師匠は今、睡眠薬.. コホコホ.. お酒飲んで寝てるわ。だから
今回は特別にイリヤが特訓してあげるね♪」底抜けに明るい声が傷に沁みる
…おかしい。ココはそんな場所だったろうか？
ロリブルマはいつになく楽しそうだ。嫌な予感…。
ふらふらしながらも一応聞いてみる…「あの.. とりあえず傷の手当てなんか
を..」「ふーん、シロウは死にたくないんだ？」でも大丈夫だよ、ここでは何
回殺しても死なないわ♪」やっぱりダメだった。交渉の余地もない…
目の前のロリブルマという高次生命体様は、もはや特訓という名の遊びがし
たくてたまらないご様子なのです。
おおかた、ヒント出すだけの繰り返しに飽きて、虎に下克上でもしたのがも
知れない。……オレで好き勝手遊ぶ為に……。

And, ロリブルマ
appeared. now.
Training starts.

「ほらほらっ、ココに来たのは自業自得な
だんだから諦めなさい♪」

「……」黙ってロリブルマを見つめる。
「シロウがいつてもちゃんとイリヤだけ
のモノでいないからいけないの。だから
きつと、あっちの世界で私に守って貰え
なかつたんだわ」

「……」しょぼしょぼの目で見つめる。
「そんな顔してもダメダメ♪ 今から特訓
するんだから♪ 私がいないとすぐ殺ら
れちゃうなんて、シロウは弱すぎるわ」
「……」ヒトイ言われ様だ。

オラオラ♡
オラ♡

早く♡

「しょうがないなあ… じゃあ素手で相手してあげるね。
しがもパンチだけ！大サービスでしょ、シロウ♪」
「……イリヤ」そろそろ反論の一つもしてみようかと思う。
「もうっ、さつきから何なのシロウ？ あんまり我侭ばかり
言っていると 本当にもう助けてあげないよ」
オレは静かに聞いてみた。

「……クイズです。オレは誰に殺されたんでしょう？」

なに？

……さくっ

「えっと……もしがして…せ、セイ
バー~と？」こちらの様子を伺う
ように聞くその姿は、さつきまでと
まるで別人のようだ。
「…この凄まじいまでの テストロイ
度を見てください…」「え…えっと
……」

ロリブルマはこの肌寒い道場の中
一人汗をかき、あたふたしてる…。

ヒトイ
足がキタマ...

ドゥル
ドゥル
ドゥル

He died on the
day. The place
reached at last
is a タイガー道場.



まお...

それは何のつもりが、試すようにゆっくりとそのブツは差し出された「...うん、コレあげるから... 早く現世へ帰って お兄ちゃん」——ロリブルマのつま先には、脱ぎだての白い靴下がぶらんぶらんしている——し、信じられない！ こんなモノでチャラにする気が！？ この凶悪ロリっ子マスターは！！

現世への
お土産ね...

かあ

こ、こんなモノで... こんなモノで... オレは痛みを堪えて前進すると、ソレを取る振りをしてゆっくり手を伸ばし... 「ほら、早く受け取ってよお兄ちゃん、好きに使っていいから...」そのまま受け取った.....

ぶるぶる

それからオレは、藤ねえが道場に隠していたパイプを取り出してロリブルマに手渡す。神聖な道場にこんなモノ隠しておくなんて藤ねえにも困ったものである。

「な、何コレ！？ まさがお兄ちゃん...私にコレで??」 今日一番のびっくり顔になるロリブルマ。でも、靴下なんかで許されるはずがない。だってオレのチンコはベッチャンコにされてる。献上品でチャラになるとしたら、キャタピラになった両足の分くらいなのだ。

「大きくなったらベッチャンコのチンコが直るかも知れない。だから、いいだろ？」 自分でもわかるメチャクチャな理由でソレを要求すると今にも何が言いたそうなロリブルマはしばらく考えてから視線を外し... 「いいわ...どうせすぐに現世に戻っちゃうんだから、時間ギリギリまでお兄ちゃんの言うこと聞いてあげて...」 真っ赤な顔でそう答えた。

イリヤ
の
白~い
くつ下

「ん…あ、あ…」膝ねえ用のこっついサイズのバイブがロリブルマのまんこに繰り返し飲み込まれていく。すでに息遣いが荒い…。当然だ。こんな凶暴に轟くバイブが、その小さな身体に何度も出入りしてる…その度に声が漏れる。その度に滴るモノがある。それらを隠す事無く全て晒して自慰に耽る。それは誰でもないオレが頼んだから…。オレの為に…。「お、お兄ちゃん…まだ？」小さく眉間にしわを寄せながらも、繰り返しまんこから引き抜かれるバイブ…その度にバイブは過度の愛液に塗れていく。「あっ…あ…」小さな声はさっきまでの活発さがウソの様に細く可愛らしい。…この広い道場で、ゆっくりと周囲にいやらしい匂いが充満し始める。「早く…ん…現世に…あ…」眩きながら一生懸命に腰を上下させてる。その姿がたまらなく愛らしく思う。「お兄ちゃん…早く…もう、あそこがあ…」そんな願

ふっ

ないで欲しい。なぜなら、もつと帰りたくないって思っ
てしまうから、「あ…ああ…ア…早く…お願い…い…」
ホントに困る。もともと帰り方なんか知らないし、それ
にホントにもう帰りたくないんだ。

「…あ…アあ…良い…あっ…あ…お兄ちゃ…」ロリブルマは泣き出しそうな顔で見つめてくる。…がまわさない、もうこれ以上の我慢なんて無理だ。チンコがベッチャンコのままだとも関係ない！オレはロリブルマを抱きしめようと一歩踏み出した…。

—その時、奇跡が起こった— 下半身に脈打つモノを感じる。ベッチャンコだったチンコが大きくなってきたのだ。二次元から三次元に生還した奇跡のチンコ！ セイバーと遠く離れたこの異境の地でチンコだけに復活した超治癒能力。それはいかなる奇跡だったのだろうか？
大丈夫、やる事はわがっている。そう、きっとその為の奇跡だ。

オレは今このチンコを使って…

- ・ここは紳士的に、お口で消毒してもらおうが
- ・速やかにバイブを抜いてチンコを挿入
- ・あの空いてるアナルなどいかなるものか

64Pへ進む
89Pへ進む
106Pへ進む

※注意：この本は36P本ですヨ？

END

選択肢オチw

■ボツ！？

うう、残念.. 見たかったよお... 『』
でも、解説文にも書いてありましたが、製作者にとって「想像すら出来ない」でしたら、我々読者にとっては超未知のウルトラ平行世界って感じてすよね。
この企画がもし通っていたら、一体どんな混沌世界が繰り広げられていたのだろう.. W



思ひやうた..

くす

もこ

もこ

「ムン！お前らの応援が足りないから、

きつとボツったんだゾ」

次の人気投票
イリヤに入れなさい！

■お洋服

服のデザイン、すごく可愛いですよね (^_^) /
帽子もいいけど、キョロットがこやは好きですヨ。
このイリヤは、土郎を両手でホコホコ殴るのが似合いそう♪ でも手にはこっそり鉄鎧を... W

■パンツ考察

このイリヤがどんなパンツ履いてるかを真面目に考えてみる。 むむむ.. 全体に漂うこのヒコヒコ感。これは本来のイリヤ、回リブルマはもとより、全ての既存のイリヤ像を一旦忘れねばなるまい。 むむ.. テケテケな音源も似合いそうだ。どじっ子属性とかオプションで追加されてる可能性も高し。 .. 判定!! 「キツネさん絵のプリントパンツ！フリル付きい」!!!

...たまに思うけど、こやは日に日にアホになっている気がする.. 『』

Do you
want to
ぱ〜ふえくと
イリヤ

シッ
ン

■非エロで

天のドレス姿のイリヤです
綺麗ですね この姿のイリヤ
…なんて言うかその、泣き
そうになりますね。このイ
リヤ見ると…メッチャ思い
出しますもんあのシーン。
一応 18禁本ですし、パー
フェクトイリヤのエロ絵の
一枚も、つて思ったけど、
…やっぱり無理っぽ。(=)；
穢せませんよこのイリヤ。

あの暗黒シツイでさえ、パー
フェクトイリヤの前では穢
れを洗い流されて、元のくす
む前の色を現して、
ああもう、なんて神々しいん
だろう。(TT)

■敵として

そう言えば、あのシーンの時
バッドエンド7のお人形の
とどろを思い出して、まさか
バッドエンドの中にまでこ
んな大事なシーンの伏線が
はってあったのがっ!!
…つて思ってビビったのを
思い出しました。
思えば、バッドエンドの方で
は、イリヤは敵としてこの姿
になったんですよね。
それはそれで映像として見
てみたくないですか？
敵である者がこの上も無く
美しいってのは結構ソクソ
クしますしw

■敵キャラ燃え属性

こやは昔から敵キャラに燃える属性があるんです。それも、凶悪で残酷で、尚且つギリギリであったとしても知的なイツちゃってるキャラがど真ん中 w そんな訳でFateでは、マーボウが大好きだったりします。…あ、待って、皆さん引かないで、(´・`):;
あの…2次元の話デスよ？ こやはいたって真面目な小市民です。…で、普段は敵キャラ燃えする対象と、普通に萌える対象は同じキャラに同時に感応しないんですが、

**Do you
want to
see the
miracle?**

■ところが？

そう、Fateではイリヤと絆の二人に同時に感応しちゃったんですヨ！？ その時の心理描写をすると、「うおおおおお…燃える～そして萌える～そして燃える～そして萌える～!!!」そんな感じ w たから、敵の時のイリヤはメッチャ好きですヨ！ もちろん仲間になった後のイリヤも好きですが、敵の時のイリヤに限定するならセイバーよりも好きがもしれないくらい好きなんです。

ということで、当然このイリヤ本は、敵の頃のイリヤ本になりましたとさ。といっても、怖いイリヤは苦手な方もいるだろうし、随分控えめにはしましたが、

■ほんのり？

寝っ転びポーズですヨ。この位でお許しを w まあ、このポーズでもほんのりエロい、ワケないが。(==: とりあえず、次回発行予定の黒桜本が、エロエロ仕様になる予定なので見逃してください w

じいん

Winter in Einzoern

□ 後書き

■ ということで、後書きのページになりました。コレを読んでくれる皆さんは今、オコタの中でしょうか？
そう言えば、セイバーはすでに衛宮邸のオコタに恐ろしいほどマッチングしてますよね w その点でいうと、イリヤは若干の mismatch 間が残ってますけど、あの mismatch 感が可愛いと思うのはごやだけでしょうか？ 鍋焼きの時も同じこと思いました。餡子ってどうなんだろう？ 美味しい？ って顔色伺うような気分。すごくイノセントな感じ、だからフレイ後、イリヤにエロイベントがない事には特に思うところはありませんでしたが、デートイベント的なものももっと見てみたかったなあって気持ちは少しありました。
それにプラスして、最後のルートでのイリヤがああだったからってのもあるかと思いますが、ホロウで士郎がセイバーに最初に会った時の安堵感 [存在してくれて良かった] という気持ち、それはセイバーに対してだけじゃなく、イリヤにもごやは強く感じました。だから、ホロウで元気なイリヤが見れた時は、ホントすごく嬉しかった♪

そしてそんなイノセントなイリヤでエロ同人を描く！

ふっ、まさに外道 w 汚れ万歳いっ！！ エへへ(´▽`)前半の語りがぶち壊しだな

□ NEXT

■ 次の本は黒桜本です。間に合えば1月のトレジャー、無理だったら2月のサンクリ発行の予定です。
…とか言いつつ【Fate/Zero】本とかに変更になってたらごめんなさい。(^^; 多分黒桜本じゃないかと…
それで、その次は、まだ未確定なんですけど、遠坂姉妹本か、桜(白い方)本か、ライダー3姉妹本のどれかになると思います。来年の参加イベントは、コミケとサンクリとトレジャーは皆勤賞狙いw なんて、よろしくお願いします。
あと前回の秋のサンクリから、オフセ新刊間に合わないイベントにはコピー誌発行するようにしましたので、コピー誌お嫌いじゃない方は見に来てやって下さい。(^^)/

■ 最後になりました。こんなとこまで全部読んでくれてありがとお～(^^)/ それではまた次の本で～～。

ごやっち

奥付

- 発行日 2006/12/31
- 発行 ぷり桃
- 執筆者 Goyac (ごやっち)
- E-Mail mail@purimomo.sakura.ne.jp
- WebPage <http://purimomo.sakura.ne.jp/>
- 印刷 コーシン出版様

無断転載、無断コピー、未成年の方の購読は禁止です。

Winter in Einzbern

Before the grail war
The Homunculs was manufactured

ふり桃

12th

